

事務事業名	商店会共同事業推進支援事業				担当	産業部 商工観光課 商業係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			増補版施策名			
施策名	2	商業の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	真岡市商店会共同事業推進補助要綱					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和54年度～）		
予算科目	1. 一般会計	7. 商工費	1. 商工費	2. 商工振興費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	<p>大型店対応策の一環として、商店会を対象に、各種共同事業（共同催事・共同売出し・共同仕入れ販売・共同印刷等）を実施した時に、事業費の1/3以内を限度に補助金を交付する事業。 補助額については、当初に関係機関が協議し各商店会の事業内容や事業規模により決定している。 なお、補助率については、要望により平成30年度から、1/4から1/3に引き上げた。</p> <p>【商店会共同事業特別資金貸付事業】各種共同事業に必要な資金を、市が年度当初に真岡商工会議所を通し、貸し出している（年度未全額返還）。 共同事業特別資金.....1,000,000円</p>							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 補助金交付事務（申請 交付決定 事業 実績報告 補助金支出） 実施状況の確認 ・補助金額.....4,171千円（9商店会で16事業を実施） 共同事業特別資金の契約及び貸付、返還手続き（年度末） ・貸付実績：3事業（1団体） 合計100万円 31年度計画 前年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
ア 補助金額	千円	3,070	3,210	3,184	4,171	4,400	
イ 共同事業数	事業	17	15	16	16	16	
ウ 特別資金貸付額	千円	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
エ							
オ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市内商店会（8）、にのみや商工会商業部会（1）	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
ア 商店会数(連合会を含む)	団体	9	9	9	9	8	
イ							
ウ							
エ							
オ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 近代化への共同意識を促進し、売り上げの増大を図る。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
ア 商店会会員の参加数	人	396	385	387	383	383	
イ 特別資金利用商店会数	団体	2	2	1	1	1	
ウ 特別資金利用実績（貸付額）	千円	620	750	760	1,000	1,000	
エ							
オ							
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 身近な生活圏での商業・サービスの確保	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
ア 商品販売額(卸売業・小売業) 28商業統計	億円	-	1,198	-	-	-	
イ							
ウ							
エ							
オ							

(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	3,070	3,210	3,184	5,171	5,400
	事業費計(A)		千円	3,070	3,210	3,184	5,171	5,400
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	40	40	40	40	
		人件費計(B)	千円	168	166	166	167	
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,238	3,376	3,350	5,338	5,567	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	大型店対策や魅力ある商店会づくりの一環として、各商店会が共同意識を持ち各種共同事業を活発に展開することにより、商店会の振興を図るため支援した。またそのために必要な資金を、真岡商工会議所が窓口となり事業毎に貸付を行うことで、商店会の活性化が図られるよう制度化した（昭和56年から）。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	<p>一時的なイベントや模擬店の共同事業が多く、各商店をPRするような割引セールやサービス券等の事業が少なくなっている。また、商店会数そのものや構成する商店数も減ってきており、組織弱体化に歯止めがかからない。</p> <p>合併により、平成21年度からにのみや商工会商業部会が行う事業（いたど祭協賛大売り出し等）を対象に加えた。補助率を平成22年度から総事業費の1/3 1/4以内に引下げた。平成30年度から、要望により補助率を再び1/4から1/3に引き上げた。</p> <p>共同事業特別資金を利用する商店会が、少なくなっている。そのため、平成25年度から商工会議所への貸付額を減額した（200万円 100万円）。</p>
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	事業対象からの、補助率を引き上げてほしいとの要望あり（H30対応済）

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 商店会の活性化のための支援であるので、市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 商店会の活性化による商業の振興は、市の施策なので妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 同業者の共通意識を深められるので適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 事業活性化のため補助率を1/4から1/3に引き上げた(H30-)。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 廃止又は休止すると、商店会の活性化に繋がらなくなるので影響がある。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない プレミアム付き商品券発行事業
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない 参加加盟店や対象者に違いがあるので、統合できない。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 内容に応じた最小限の補助であり、削減できない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 補助金交付事務等で、市の人件費は最小限であり削減困難である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 共同事業費の1/3を補助するのでもあり、残り2/3は各商店会で負担しているので適正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							